

第 38 回若獅子旗なぎなた大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策の遵守事項

福岡県なぎなた連盟

第 38 回若獅子旗なぎなた大会の開催にあたり、主管である福岡県なぎなた連盟は大会参加選手・監督・引率者・競技役員(以下、「参加者」という。)の安全と安心を最優先し、会場(アクション福岡)の施設管理者である公益財団法人福岡県スポーツ振興センターと共通の認識をもって進めていくものとします。

そのため、参加者は以下の事項に全て同意して参加するものとします。

1. 「新しい生活様式」での感染防止の 3 つの基本方針

- (1) 開催にあたり適切な感染予防対策等の実施
- (2) 密閉空間、密集場所、密接場面等の感染リスクが高い状況の回避
- (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

以上の感染防止対策を整えたうえで開催する。なお、開催直前、開催中問わず、その時点の全国や開催地の感染状況に応じて急きょ中止する場合がある。

2. 具体的な感染防止対策

- (1) 監督は、参加者本人および保護者の参加同意を得ること。
- (2) 以下の事項に該当する者は参加できない。
 - ① 発熱のある者(個人差はあるが、一般的に 37.5 度以上ある者とする)
 - ② 咳・咽頭痛など風邪のような症状がある者、倦怠感・息苦しさを感じる事、味覚・嗅覚の異常を感じる事、その他体調がよくない者
 - ③ コロナウイルス検査陽性者との濃厚接触がある、または同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる者
 - ④ 大会開催日前 14 日以内に帰国、または帰国者と接触した者
 - ⑤ 基礎疾患のある者で、主治医に相談し参加に理解が得られなかった者
 - ⑥ 監督が、大会開催日前 14 日以内の参加者の健康状態の確認を行い、その期間に 37.5 度以上の発熱が認められた者
- (3) 参加者は大会当日に検温を行い、「健康調査票」を会場入口の受付に提出する。また、会場入口で体温測定を受け、手指の消毒を行うこと。
- (4) 大会参加者は必ずマスクを着用すること。また、試合競技選手はシールドおよびマスクを併用して着用、演技競技選手はマスクを着用すること。(令和 3 年 2 月 22 日変更)
- (5) こまめに手洗い、手指・足底の消毒を行い、会場内では十分な距離の確保を心がけること。
- (6) 用具(なぎなた・防具・手ぬぐい等)や水分補給は個人のものを使用し、共用は禁止すること。
- (7) 更衣室を使用する場合は、短時間に、少人数で行うこと。
- (8) 飲食は所定の場所のみとし、周囲の人と距離を取って対面を避けること。ごみは各自持ち帰ること。
- (9) 大会は、参加者のみで開催し、無観客で行う。引率者は選手 1 名につき、1 名以内とする。なお、参加者が多数に上った場合は引率者の人数を制限することがある。
- (10) 応援は拍手のみとし、近距離での会話等は慎むこと。
- (11) 大会終了後 14 日以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(事務局 092-606-3651)に速やかに届け出ること。

以上